

表 シカゴ連銀経済報告(2021年9月8日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は大幅に(strongly)増加 賃金は大幅に(strongly)上昇	採用活動の強化にもかかわらず、熟練、非熟練を問わず労働者が不足し、特にレストランなど、営業を拡大しようとしている企業では、人手不足のために営業時間が制限される場合もあるとの報告がみられた。ある労働力開発機関の担当者は、新しい仕事が見つかるようになったことで、労働者が新しい仕事を選ぶ際に、職場環境、スケジュールの柔軟性、賃金などをより細かくチェックするようになったと指摘した。また、新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、対面式の仕事への復帰を遅らせているという報告も多数あった。その他、募集職種への応募者が少ないため、多くの企業が賃金の引き上げを余儀なくされているとの報告もみられた。
物価	全体的に大幅に(strongly)上昇	物価は今後12カ月で緩やかに上昇すると見込まれている。生産者価格は、材料費、エネルギー費、人件費、輸送費の上昇により大幅に増加した。金属、金属製品、石油製品、化学製品、電子機器、紙など幅広い分野で価格が上昇したほか、運賃が大幅に上昇したことが注目された。消費者価格は、堅調な需要、限られた在庫、コストの上昇などにより堅調に増加した。
個人消費	わずかに(slightly)減少	デルタ株の影響により、レジャーおよびホスピタリティ関連の支出は減少した。ホームセンター、家具、家電、電子機器、食料品店などの売上げは堅調に推移した。実店舗での消費者の出足を分析するサービスによると、中西部の客足はパンデミック前のレベルに回復している。軽自動車の販売台数は、新車の在庫がさらに少なくなったため、再び減少した。ディーラーの利益率は、最近の最高水準からは低下したものの、堅調な水準を維持した。
企業支出	控えめに(modestly)増加	小売店の在庫は多くの部門で減少しており、ホリデーシーズンから2022年初頭にかけて在庫が減少するとみられている。軽自動車の新車および中古車在庫は、自動車生産が引き続き遅れているため、非常に低い水準となった。製造業では、販売用在庫は緩やかに減少しており、金属、プラスチック、紙、マイクロチップなど幅広い種類で原材料の不足がみられた。企業の中には、操業停止を回避するために投入資材を備蓄しているところもあった。輸送サービスに対する需要は供給を上回っており、遅延や料金の急激な上昇の報告が多数みられた。設備投資額は増加しており、今後1年間も同様のペースで拡大すると予想している。商業用顧客のエネルギー需要は小幅に増加したが、工業用の需要はわずかに減少した。
建設と不動産	わずかに(slightly)増加	住宅用の不動産建築は横ばいだった。住宅用の不動産業についても、在庫が少なく販売量に限界があることから、ほとんど変化はなかった。価格は引き続き上昇した。商業用の建築では、材料の調達に時間がかかるため、多くの既存プロジェクトに支障が出ており、横ばいとなった。商業用の不動産業については、ここ数週間で販売額、価格ともにわずかに上昇し、工業用物件や複合施設への需要は引き続き堅調だった。また、パンデミックを乗り切った小売業者が事業を拡大したため、交通量の多い通路にある小売スペースの需要が顕著に増加した。
製造業	控えめに(modestly)増加	多くの分野で新型コロナウイルスまん延以前の水準を上回り、多くの企業がフル稼働しているとの報告がみられた。成長を妨げる主な要因として、労働力とサプライチェーンの問題が挙げられた。自動車生産台数は、マイクロチップやその他の材料の不足により減少した。重機の需要は、建設および農業分野での販売増加に牽引され、堅調に推移した。鉄鋼については、ほとんどの産業で需要が増加したとの報告があった。鉄鋼物流センターの在庫は低水準だったが、年初来の逼迫感はなかった。特殊金属および化学品メーカーの売上高は、緩やかに増加した。建築材料の一部は受注が増加したが、他の建築材料の出荷は、住宅建設業者が人件費や材料費に圧迫されていることから減少した。
金融	わずかに(slightly)改善	ビジネスローンの需要はわずかに増加した。銀行関係者は、多くの潜在的な借り手が十分な現金を持っており、また他の借り手は銀行以外の資金源を持っているため、ローンの拡大は困難であると述べた。ビジネスローンの質は、すべてのセクターで改善が報告された。ビジネスローンの基準は、全体的に若干緩くなった。M&A活動が活発化しているとの報告もあった。消費者ローンは、自動車およびクレジットカードの取引量の増加により、需要が若干増加した。消費者ローンの質は改善し、過去最高との声もみられた。与信基準のバランスは変更されてない。
農業	所得は減少見込み	ほとんどの農産物価格は前年よりも高かったが、2021年にはパンデミック関連の政府支援金が終了するため、収入は減少すると予想されている。牛と卵の価格は上昇した。牛乳は、輸送コストの上昇により利益が低下し、価格はほぼ横ばいとなった。トウモロコシ、大豆の価格は、最近の高値から後退したものの、供給量が比較的少ないため、価格はある程度維持された。一部地域は依然として干ばつに直面しているが、地区全体としてトウモロコシと大豆の収穫量は記録的になると予想されている。物流が逼迫しており、収穫時に農機具の部品が不足して、収穫が遅れ作物が市場に運ばれなくなることが懸念された。農地価格は上昇を続けている。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成